

中央区ひとり親家庭実態調査（第2稿案）

調査について

- この調査票は、区内にお住まいの児童育成手当を受給されている世帯を対象に、お送りしています。
- この調査は、**無記名方式**で行います。回答者個人が特定されることはありません。
- 調査結果は、今後のひとり親家庭への支援事業を検討する際の基礎資料とします。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- この調査票は●ページ、●問あります。
- 調査回答に要する時間はおおむね●分程度です。

ご記入にあたってのお願い

- ご記入は、個人を対象にしていますので、ご本人（封筒のあて名の方）に回答をお願いいたします。
- 鉛筆や黒または青のボールペンで記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 「その他」に○をつけた場合は、〔 〕内に具体的にその内容をご記入ください。
- 調査票は同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください（切手は不要です）。また、Web（パソコン、スマートフォン等）での回答も可能です。
※パソコン、スマートフォン等から回答いただいた場合は、本調査票の記入・提出は不要です。

【回答期限】 郵送：11月24日（金）までにポストに投函
 Web：11月24日（金）午後11時59分まで

Web(パソコン、スマートフォン等)での回答方法 ※詳細は別紙参照

- 1 以下のURL か二次元コードを読み取り、インターネット回答のサイトにアクセスしてください。
- 2 下記のパスワード・ID を使ってログインして回答をお願いします。（ログインできない場合は問い合わせ先までご連絡ください。）

URL : <https://~~~~~>

二次元 コード

パスワード： I D :

(IDは無作為に配布されていますので、回答者が特定されることはありません。)

【問い合わせ先】

★調査の目的・内容について

中央区福祉保健部子育て支援課計画推進等担当係長 TEL 03-3546-5444

★調査方法・インターネット回答等について

株式会社 生活構造研究所 TEL 03-5275-786●

受付時間 午前10時～午後5時（土日・祝日を除く。）

(この調査は中央区から株式会社生活構造研究所に委託して実施しています。)

1. あなたご自身について、おうかがいします。

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問2 あなたの年齢をお答えください。(令和5年10月1日現在) (□内に数字を記入)

□	□		歳
---	---	--	---

問3 あなたがお住まいになっている地域および地区はどこですか。(それぞれ1つに○)

(1) 地域	(2) 地区				
1. 京橋地域	1. 八重洲二丁目	2. 京橋	3. 銀座	4. 新富	5. 入船
	6. 湊	7. 明石町	8. 築地	9. 浜離宮庭園	10. 八丁堀
	11. 新川				
2. 日本橋地域	1. 本石町	2. 室町	3. 本町	4. 小舟町	5. 小伝馬町
	6. 大伝馬町	7. 堀留町	8. 富沢町	9. 人形町	10. 小網町
	11. 蛸殻町	12. 箱崎町	13. 馬喰町	14. 横山町	15. 東日本橋
	16. 久松町	17. 浜町	18. 中洲	19. 八重洲一丁目	20. 日本橋
	21. 茅場町	22. 兜町			
3. 月島地域	1. 佃	2. 月島	3. 勝どき	4. 豊海町	5. 晴海

問4 あなたは、いつから中央区にお住まいですか。転入してきた方は()の①~⑥も教えてください。(1つに○)

1. 生まれてからずっと住んでいる	
2. 中央区に転入してきた(転入してから :	① 1年未満 ② 1~3年未満
	③ 3~5年未満 ④ 5~10年未満
	⑤ 10~15年未満 ⑥ 15年以上)

※「2. 中央区に転入してきた」には、生まれ育ちは中央区で、転出したがその後中央区へ転入してきて再び住むようになった場合も含む。

問5 あなたの現在のお住まいは次のどれですか。(1つに○)

1. 自分名義の持家(共同名義を含む)	5. 社宅・会社の寮
2. 自分名義以外の持家(親等の名義)	6. 間借り・住み込み
3. 都営・区営等公営賃貸住宅	7. その他 []
4. 民間賃貸住宅	

問6 あなたの世帯について教えてください。((1)数字を記入、(2)あてはまるものすべてに○)

(1) 世帯人数	あなたを含めて()人	
(2) 同居者	1. 子ども	4. あなたの兄弟姉妹
	2. あなたの父	5. 孫
	3. あなたの母	6. その他 []

問13 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(それぞれ1つに○)

項 目	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
① 海水浴に行く	1	2	3	4
② 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
③ キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
④ スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
⑤ 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
⑥ 旅行(国内・海外)に行く	1	2	3	4

3. お仕事に関することをおうかがいします。

問14 あなたの最終学歴を教えてください。(1つに○)

1. 中学校卒業	5. 大学卒業
2. 高等学校卒業	6. 大学院卒業
3. 専門学校(高等学校卒業後に進学するもの)卒業	7. その他〔 〕
4. 高等専門学校・短期大学卒業	

問15 ひとり親になる前、仕事をしていましたか。(1つに○)

※育児休業など休業中だった方は「ひとり親になる前、仕事をしていた」に○をつけてください。

1. ひとり親になる前、仕事をしていた	————▶	問15-1、15-2へ
2. ひとり親になる前、仕事をしていなかった	————▶	問15-3(P.5)へ

※問15で「1. ひとり親になる前、仕事をしていた」を選んだ方におうかがいします。

問15-1 どのような雇用形態でしたか。(1つに○)

1. 常勤(正社員)	4. 派遣・契約社員
2. パート・アルバイト	5. その他〔 〕
3. 自営業・自営業手伝い	

問15-2 ひとり親になったことにより転職しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 収入増をめざして転職した	4. 契約終了のため転職した
2. 家事・育児との両立のため転職した	5. 転職しなかった(続けた)
3. 引っ越したため転職した	6. その他〔 〕

————▶ 問16(P.5)へ

※問15で「2. ひとり親になる前、仕事をしていなかった」を選んだ方におうかがいします。

問15-3 仕事をしていなかった理由を教えてください。(1つに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 家事・育児に専念したかったから
2. 働きたかったが、家事・育児との両立ができなかったから
3. 働きたかったが、子どもの親(相手方)に働くことを反対されたから
4. 働きたかったが、仕事が見つからなかったから
5. 働く必要がなかったから
6. その他〔 | 〕 |
|--|---|

※すべての方におうかがいします。

問16 あなたは、現在働いていますか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------|-----------|
| 1. 働いている | ————→ | 問17へ |
| 2. 働いていない | ————→ | 問18(P.7)へ |

問17 問16で「1. 働いている」を選んだ方にあなたのお仕事のことについておうかがいします。

(1) あなたのお仕事は次のどれにあたりますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 常勤(正社員) | 4. 派遣・契約社員 |
| 2. パート・アルバイト | 5. その他〔 |
| 3. 自営業・自営業手伝い | 〕 |

(2) 現在の仕事の勤務時間などの状況について、教えてください。

※①及び②の空欄には数字を、②は午前と午後のいずれかに○も記入、③～⑥のあてはまる番号それぞれ1つに○を、それぞれご記入ください。

①就労日数	週に()日
②平日の出勤及び帰宅時刻 ※最も多い時間帯をお書きください	出勤時刻【午前 午後】()時()分頃 帰宅時刻【午前 午後】()時()分頃 例：【午前】午後】(9)時(00)分頃
③22時以降の深夜勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
④土曜日勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
⑤日曜・祝日勤務	1. 定期的にある 2. 不定期にある 3. なし
⑥副業(主な仕事以外にしているアルバイト、内職等の数)	1. 1つしている 3. していない 2. 2つ以上している

(3) 現在の勤務地はどの地域ですか。(1つに○)

1. 中央区内
2. 隣接区(千代田区、港区、台東区、墨田区、江東区)
3. 中央区・隣接区以外の区
4. 東京23区外

(4) 自宅から職場までの通勤時間は、片道どのくらいですか。(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 10分以内 | 3. 30分～1時間未満 |
| 2. 10～30分以内 | 4. 1時間以上 |

(5) 現在のお仕事の勤務年数はどのくらいですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|------------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 3～5年未満 | 5. 10年以上 |
| 2. 1～3年未満 | 4. 5～10年未満 | |

(6) 就職する際に利用した相談窓口等についてお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. ハローワーク | 5. 就職情報誌、求人広告 |
| 2. マザーズハローワーク | 6. インターネットの求人情報サイト |
| 3. 東京しごとセンター | 7. 友人・知人からの紹介 |
| 4. 東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」 | 8. その他〔 〕 |

(7) あなたが仕事を探している時の問題点は何でしたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就職活動中の子どもの預け先がない
2. 希望する就労先の募集条件に合う資格・技能・経験がない
3. 希望する就労先の募集条件に合う学歴がない
4. 希望する条件に合う就労先がない
5. 希望する就労先の募集条件の年齢制限を超えてしまっている
6. 子どもの年齢が低いことを問題にされた
7. 仕事探しを相談できる場所がない
8. ひとり親というだけで不採用となってしまう
9. その他〔 〕
10. 問題点は特にない

(8) あなたが仕事を探している時、どのような就労支援があればよかったですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1. 条件の合う仕事のあっせん | 7. 履歴書の書き方の指導など |
| 2. 職業訓練の機会が増えること | 8. ハローワーク等への同行(就業支援専門員) |
| 3. 職業訓練中の経済的支援 | 9. 就職まで寄り添って支援してくれる相談員(就業支援専門員など) |
| 4. 就職活動や職業訓練中の子どもの保育 | 10. その他〔 〕 |
| 5. 就職のための適性診断 | 11. 特にない |
| 6. 表計算ソフト等のパソコンのスキルアップなどの講座 | |

(9) 現在、あなたは転職を希望していますか。(1つに○)

1. 強く転職を希望している	3. 転職は考えていない → 問18へ
2. できれば転職をしたい	

(10) 転職したい主な理由は何ですか。(1つに○)

1. 賃金(収入)が安いから	5. 正社員でないから
2. 仕事の内容に不満があるから	6. 休暇が取得しにくいから
3. 職場の人間関係に不満があるから	7. その他〔 〕
4. 通勤時間が長いから	

問18 仕事と子育てを両立する上で、大変だと感じていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 急に残業が入ってしまうこと
2. 子育てのため、就業時間を長くとれないこと
3. 子どもが急に病気になった時に代わりに面倒をみってくれる人がいないこと
4. 子育てしながら働くことについて職場の理解が得られないこと
5. 子どもとのコミュニケーションの時間が十分にとれないこと
6. その他〔 〕
7. 特になし

問19 今後、仕事と子育ての両立が可能な環境を整備・充実していくために、行政(国・都・区)にどのような取り組みを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 労働時間の短縮
2. 育児休業などの取得促進
3. 子どもの看護休暇制度の義務化と取得促進
4. 男性の育児参加の促進(男性の育児休業の取得促進など)
5. 保育サービスの拡充(定員の拡大、時間の延長など)
6. 幼稚園での預かり保育 ^{※1} の充実
7. 病児・病後児保育 ^{※2} の充実
8. 一時預かり保育 ^{※3} の充実
9. 学童クラブなど放課後の居場所の充実
10. その他〔 〕
11. 特になし

→ 問22 (P.8) へ

※1 幼稚園での預かり保育：区立幼稚園のうち3園で幼稚園在園児を対象に、通常の幼稚園教育時間終了後、空き教室等を利用して保育を行います。給食はありません。

【開設時間】月～金曜日：幼稚園教育時間終了後から午後4時30分まで
夏季・冬季・春季休業日 午前9時から午後4時30分まで

(年末年始、土日祝日を除く)

※2 病児・病後児保育：病気の回復期等により、保育施設での集団保育ができず、保護者も家庭で看護することができない場合に、一時的に子どもを預かる事業です。

※3 一時預かり保育：保護者が冠婚葬祭やリフレッシュなどの理由により一時的に子どもを預かる事業です。また、保護者の出産や入院などの緊急の理由により利用できる「緊急保育」があります。

※問23は、問9で「2. 死別」「3. 消息不明」以外を選んだ方におうかがいします。

4. 養育費について、おうかがいします。

問23 養育費の支払いについて、あなたはどのような約束をしましたか。(1つに○)

1. 特に取り決めをしなかった	→ 問23-1へ
2. 書面を取り交わした	→ 問23-2へ
3. 口頭で約束した	
4. その他〔	
〕	

※問23で「1. 特に取り決めをしなかった」を選んだ方におうかがいします。

問23-1 養育費について「特に取り決めをしなかった」理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから	
2. 相手と関わりたくなかったから	
3. 取り決めの交渉がわずらわしいから	
4. 相手に養育費を請求できるとは思わなかったから	
5. 自分の収入で経済的に問題がないから	
6. 相手に支払う意思や能力がないと思ったから	
7. 子どもを引き取った方が、養育費を負担するものだと思っていたから	
8. 自分で選んだ道なので最初からあてにしなかったから	
9. 現在交渉中または交渉予定である	
10. その他〔	〕

→ 問24 (P.10) へ

※問23で「2. 書面を取り交わした」「3. 口頭で約束した」「4. その他」を選んだ方におうかがいします。

問23-2 現在、あなたは養育費を受け取っていますか。(1つに○)

1. 受け取っている	→ 問23-3へ
2. 受け取っていない	→ 問23-4へ

問23-3 問23での約束は守られていますか。(1つに○)

1. きちんと守られている	3. あまり守られていない
2. 大体守られている	4. まったく守られていない

※問23-2で「2. 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。

問23-4 養育費を受け取っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 請求する相手がいない	4. 相手に支払い能力がなくなった	
2. 自ら受け取りを拒否した	5. 履行期間が終了した(子が成長した)	
3. 取り決めた約束が破棄された	6. その他〔	〕

※問24は、問9で「2. 死別」「3. 消息不明」以外を選んだ方におうかがいします。

5. 面会交流について、おうかがいします。

問24 離別した（あるいは未婚）の夫（妻）と子どもの面会交流について、あなたはどのような約束をしましたか。（1つに○）

1. 特に取り決めをしなかった	→ 問24-1へ
2. 書面を取り交わした	→ 問24-2へ
3. 口頭で約束した	
4. その他〔 〕	

※問24で「1. 特に取り決めをしなかった」を選んだ方におうかがいします。

問24-1 面会交流について「特に取り決めをしなかった」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 取り決めの交渉をしたがまとまらなかったから
2. 相手と関わりたくなかったから
3. 取り決めの交渉がわずらわしいから
4. 取り決めの方法が分からなかったから
5. 面会交流を行うことが好ましくないと思ったから
6. 元夫（妻）が面会交流を望まなかったから
7. 面会交流の必要性を感じなかったから
8. 現在交渉中または交渉予定である
9. その他〔 〕

→ 問25 (P.11) へ

※問24で「2. 書面を取り交わした」「3. 口頭で約束した」「4. その他」を選んだ方におうかがいします。

問24-2 現在、子どもとの面会交流を行っていますか。（1つに○）

1. 現在も面会交流を行っている	→ 問24-3へ
2. 面会交流を行っていたことがある	→ 問25 (P.11) へ
3. 面会交流を行っていない	

問24-3 子どもとの面会交流の実施頻度はどの程度ですか。（1つに○）

1. 月2回以上	5. 子どもの夏休み中・冬休み中などの長期休暇中
2. 月1回以上2回未満	6. 別途協議で決めている
3. 2～3か月に1回以上	7. その他〔 〕
4. 4～6か月に1回以上	

※すべての方におうかがいします。

6. 子育てについて、おうかがいします。

問25 あなたが子育てをしていて良かったと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもを持つ喜びが実感できたこと
2. 子どもが成長すること
3. 子育てを通じて自分も成長できたこと
4. 家族間の会話が増えたこと
5. 家庭が明るくなったこと
6. 子育てを通じて自分の友人が増えたこと
7. 自分の親への感謝の気持ちが生まれたこと
8. その他〔 〕
9. 特にない

問26 子育ての悩みや子どもに関する悩みはどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

(1) 子育ての悩み	(2) 子どもに関する悩み
1. 子どものしつけ・教育	1. 子どもの健康・障害
2. 子どもと遊ぶ時間がない	2. 子どもの学力
3. 勉強を教えてあげられない	3. 子どもの進学・就職
4. 子どもの悩みを聞いてあげられない	4. 子どもの友達関係・いじめ
5. 子どもにきつくあたってしまうことがある	5. 子どもの素行
6. 親同士の関係	6. 不登校・引きこもり
7. その他〔 〕	7. その他〔 〕
8. 特にない	8. 特にない

問27 今の生活の悩みや将来の不安はどんなことですか。（あてはまるものすべてに○）

(1) 今の生活の悩み	(2) 将来の不安
1. 自分の健康	1. 生活費が足りなくなること
2. 仕事の拘束時間	2. 就職・転職ができるかどうか
3. 家事の負担	3. 今の仕事が続けられるかどうか
4. 食生活・栄養	4. 自分の親の介護
5. 家が狭い・快適でない	5. 子どもの教育費や将来のこと
6. ひとり親家庭への周囲の理解不足	6. 再婚
7. 物価高騰による経済的負担の増加	7. 自分の老後のこと
8. その他〔 〕	8. その他〔 〕
9. 特にない	9. 特にない

問28 子育てに関する悩みや不安をどなたに、または、どこの機関に相談していますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 祖父母・兄弟等の親族	14. 子ども発達支援センター ゆりのき
2. 友人や知人	15. 児童館
3. 近所の人	16. 福祉センター
4. 職場の人	17. 教育センター
5. 保育所・幼稚園、学校等の他の保護者	18. 社会福祉協議会(地域福祉コーディネーター)
6. 保育所・幼稚園、学校等の他の担任等	19. 児童相談所
7. 学童クラブや子どもの居場所「プレディ」の職員等	20. 子育て支援を行うNPO等
8. 民生・児童委員	21. 子どもほっとライン
9. 区の区民相談(女性相談・家庭相談等)	22. インターネット上で相談する
10. 子育て支援課のひとり親家庭相談	23. その他〔 _____ 〕
11. 保健所・保健センター等の保健師	24. 相談相手がない
12. かかりつけ医師・看護師等	25. 相談する機関がわからない
13. 子ども家庭支援センター きらら中央	26. 相談することがない

問29 過去1年間における毎月の家賃や住宅ローンなどの住宅費は、次のどれにあたりますか。(1つに○)

※住宅ローンのボーナス払い分は毎月の住宅費に上乗せしてください。

1. 負担額なし	6. 11～14 万円未満
2. 2万円未満	7. 14～17 万円未満
3. 2～5 万円未満	8. 17～20 万円未満
4. 5～8万円未満	9. 20 万円以上
5. 8～11 万円未満	

問30 あなたの家庭(世帯)では、過去1年間に、経済的な理由による次のような経験がありましたか。

(それぞれ1つに○)

項 目	まったくない	何度かあった	頻繁にあった
① 必要な食料が買えなかった	1	2	3
② 必要な衣料が買えなかった	1	2	3
③ 電気料金の滞納	1	2	3
④ 電話料金の滞納	1	2	3
⑤ ガス料金の滞納	1	2	3
⑥ 水道料金の滞納	1	2	3
⑦ 家賃や住宅ローンの滞納	1	2	3

問31 現在の暮らしの状況を経済的な面でどのように感じていますか。(1つに○)

1. 大変ゆとりがある	4. やや苦しい
2. ややゆとりがある	5. 大変苦しい
3. 普通	

問32 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、必要な時に利用したいと思うものをお答えください。（①～⑬の事業ごとに、それぞれ1つに○）

※P17【中央区の主なひとり親向け支援事業一覧】を参照のうえ、ご回答ください。

事業名	制度を知っていた			制度を知らなかった	
	知っており、 利用している (いた)	知っており、 今後利用したい	知っているが、 今後利用する つもりはない	知らなかったが、 今後利用したい	知らなかったが、 今後利用する つもりはない
① ひとり親家庭親子観劇会	1	2	3	4	5
② ひとり親家庭日帰りバス研修	1	2	3	4	5
③ ひとり親家庭等医療費助成	1	2	3	4	5
④ ひとり親家庭休養ホーム事業 (日帰り施設・宿泊施設利用料助成)	1	2	3	4	5
⑤ ひとり親家庭ホームヘルプサービス	1	2	3	4	5
⑥ ひとり親家庭相談	1	2	3	4	5
⑦ 子どもの学習・生活支援事業	1	2	3	4	5
⑧ 母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付	1	2	3	4	5
⑨ ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	1	2	3	4	5
⑩ ひとり親家庭高等職業訓練足進給付金	1	2	3	4	5
⑪ 母子生活支援施設（他区の施設）	1	2	3	4	5
⑫ ひとり親世帯への住宅支援	1	2	3	4	5
⑬ その他〔 〕	1	2	3	4	5

問33 あなたが子育てするうえで足りていないと感じていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 子どもが十分に学習、勉強できる環境	8. 子どもが自由に遊ぶ時間
2. 子どもが安全に生活できる環境	9. 子どもが思いきり体を動かして遊ぶ環境
3. 子どもにとって危険の無い生活	10. 親子で過ごせる場所やイベント
4. 子どもが家族と過ごす時間	11. 子どものゆとりある生活
5. 子どもの自立を促す取組	12. 保護者が自由に過ごせる時間
6. 子どもたちが自分たちのことを自分たちで 決める機会	13. 地域での支えあい
7. 子どもにとって充実した食生活	14. 子育て経験者からのアドバイス
	15. その他〔 〕

問34 日頃、お子さんを保護者に代わってみてる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 日常的に祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる |
| 3. 日常的に友人・知人にみてもらえる |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる |
| 5. いずれもない |

問35 ひとり親になられた後で、お子さんを次のようなところに預けたり、通わせたりしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 保育所 | 7. 子ども家庭支援センター きらら中央 |
| 2. 幼稚園 | 8. 児童館(学童クラブを含む) |
| 3. 認定こども園 | 9. プレディ(放課後子ども教室) |
| 4. 事業所内保育施設、ベビーホテルなどの
認可外保育所 | 10. その他
〔 〕 |
| 5. ベビーシッター | 11. <u>どれも利用したことはない</u> |
| 6. 祖父母や親せきの家 | |

→ 問36 (P.15) へ

※問35で「11. どれも利用したことはない」以外を選んだ方におうかがいします。

問35-1 お子さんを預けたり、通わせたりした主な理由は何ですか。(3つまで選んで○)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 自分の仕事のため | 5. 近所の遊び相手不足のため |
| 2. 自営・家業の仕事のため | 6. 子どもの養育に不安があるため |
| 3. 自分や家族が病気のため | 7. 子どもの教育のため |
| 4. 近所の遊び場不足のため | 8. その他〔 〕 |

問35-2 お子さんを預けたり通わせたりして、あなたが不満に思ったことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 保育や教育の時間が短い | 9. 給食がない |
| 2. 保育や教育の内容が良くない | 10. 給食の内容が良くない |
| 3. 夜間に預かってもらえない | 11. 専門の施設・設備ではない |
| 4. 土曜・日曜など、休日に預かってもらえない | 12. 安全管理の体制が不十分 |
| 5. 家から遠い(30分~60分未満) | 13. 子どもが病気の時に預かってくれない |
| 6. 家からとても遠い(60分以上) | 14. その他
〔 〕 |
| 7. 費用がかかる | |
| 8. 先生や保育者との交流が少ない | 15. 特にない |

問36 近所や地域の人とおつきあいは、どの程度ありますか。（1つに○）

- | | |
|---------------|---------------------------|
| 1. あいさつする程度 | 4. 食事に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2. 時々立ち話をする | 5. 困っている時に相談したり助け合ったりしている |
| 3. 家に上がって話をする | 6. ほとんどつきあいはない |

問37 あなたは、中央区に今後も住み続けたいと思いますか。（1つに○）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 子どもの小学校入学前まで住み続けたい | 5. 子どもの大学卒業まで住み続けたい |
| 2. 子どもの小学校卒業まで住み続けたい | 6. ずっと住み続けたい |
| 3. 子どもの中学校卒業まで住み続けたい | 7. 転出したい |
| 4. 子どもの高等学校卒業まで住み続けたい | |

問38 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 祖父母・兄弟等の親族 | 10. 保健所・保健センター |
| 2. 友人や知人 | 11. 子育てガイドブック |
| 3. 近所の人 | 12. こどもすくすくナビ |
| 4. SNSで知り合った友人 | 13. インターネット |
| 5. 保育所、認定こども園、幼稚園、学校 | 14. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 6. 区役所や区の機関の窓口 | 15. 子育て雑誌 |
| 7. 「区のおしらせ ちゅうおう」やパンフレット | 16. その他〔 〕 |
| 8. 子ども家庭支援センター きらら中央 | 17. 情報の入手先がわからない |
| 9. 児童館 | 18. 情報を必要としていない |

問39 あなたは、子育てに関するどのような情報がほしいですか。（3つまで選んで○）

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 子どもの発達や育児、しつけについて | 7. 病気や障害に関する相談窓口 |
| 2. 子ども向けイベント情報 | 8. アレルギーのある子ども向けの情報 |
| 3. 医療機関情報 | 9. 子育てに優しい、子育てしやすい住まいに関する情報 |
| 4. 保育所、幼稚園、学校の紹介・特徴 | 10. 地域の伝統行事（祭り等）などの情報 |
| 5. 経済的支援制度に関する情報 | 11. その他〔 〕 |
| 6. 公園などの遊び場の情報 | |

問40 あなたは、他のひとり親家庭と交流をしたいと思いますか。（1つに○）

- | | | | | |
|------------|--------------|--------------|---------------|------------|
| 1. ぜひ交流したい | 2. できれば交流したい | 3. どちらともいえない | 4. あまり交流したくない | 5. 交流したくない |
|------------|--------------|--------------|---------------|------------|

問41 あなたが必要と思うひとり親家庭への支援等はどのようなものですか。（3つまで選んで○）

1. 就職・転職に関する情報提供や相談、面接のアドバイスなどの就職できるまでの寄り添った支援を受けられること
2. 就労のための教育訓練・資格取得の費用などを助成してくれること
3. 在宅ワーク（パソコンを使うITやWeb関連の仕事）のスキルを習得するための支援を受けられること
4. 家計管理や子どものしつけ・育児や養育費の取得手続等に関する講習会や、個別相談が受けられること
5. 子どものことや生活のことなど気軽に話（相談）ができること
6. 求職活動中、スキル習得中に保育所、学童等を利用できること
7. 理由を問わずに子どもを一時的に預けられる場所が充実すること
8. ひとり親が定期的に集い、情報交換などを行える場を開催してくれること
9. 低家賃の「ひとり親世帯住宅」の整備や、家賃助成などの住宅のための支援を受けられること
10. 一時的に必要な資金を借りられること
11. 夫の暴力からの避難などの緊急時、一時的に施設で保護してもらえること
12. 施設で母子家庭を保護し、子育て支援を進めながら、母子の生活と自立を支援してくれること
13. 子どもの学習支援や進路相談を受けられること
14. 子どもの学費等の奨学金を受けられること
15. 高等学校卒業程度認定試験に合格等のための講座開催など、ひとり親の再チャレンジを支援してくれること
16. その他〔 〕
17. 特にない

問42 質問は以上で終わりです。区のひとり親家庭支援施策に関してご意見などがございましたら、ご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。11月24日（金）までに、投函してください。（切手不要）

中央区の主なひとり親向け支援事業一覧

事業名	事業の内容
① ひとり親家庭親子観劇会	ひとり親家庭の親子を対象とした「親子観劇会」を年1回実施しています。
② ひとり親家庭日帰りバス研修	ひとり親家庭の親子を対象に、相互の交流やレクリエーションを目的とした研修を、中央区社会福祉協議会および中央区ひとり親家庭福祉協議会が共催で年1回実施しています。
③ ひとり親家庭等医療費助成	ひとり親家庭などの方が病気やケガなどをしたとき、安心して病院などで受診できるように医療費の自己負担分の一部を助成しています。
④ ひとり親家庭休養ホーム事業 (日帰施設・宿泊施設利用料助成)	ひとり親家庭の方がレクリエーションや休養のために区の指定した施設を利用する際に、利用料金を助成します。
⑤ ひとり親家庭ホームヘルプサービス	ひとり親家庭で日常生活を営むのに著しく支障が生じたときに、ホームヘルパーを派遣します。
⑥ ひとり親家庭相談	専任の相談員(母子父子自立支援員兼家庭・婦人相談員)がひとり親家庭の方々の生活のこと等各種のご相談に応じています。また、必要に応じて各種関係機関と連携しています。
⑦ 子どもの学習・生活支援事業	ひとり親家庭等の子どもを対象とした無料の学習会を実施しています。ボランティアによる学習の支援や、進路や生活に関する相談を行い、子どもの自立に向けた支援を行います。
⑧ 母子及び父子福祉資金・女性福祉資金の貸付	母子家庭または父子家庭の生活の安定と、その児童の福祉を図るために、各種資金の貸し付けを行っています。
⑨ ひとり親家庭自立支援教育訓練給付金	母子家庭の母または父子家庭の父の就労促進のため、区が指定する教育訓練講座を受講する場合に、費用の一部を助成しています。
⑩ ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金	母子家庭の母または父子家庭の父の就業に有利な資格取得のため、1年以上養成機関で修業する場合に、訓練促進給付金を支給します。
⑪ 母子生活支援施設(他区の施設)	母子家庭のための施設として、生活上の問題を抱えているため子どもの養育が十分にできない場合に、母子で入所することができます。
⑫ ひとり親世帯への住宅支援	住宅に困窮しているひとり親家庭を対象に設置している区立住宅です。あき家が発生した場合に募集しています。